

研究授業「体育Ⅱ」の実施

池内裕二

Enforcement and reflection of an open class “Physical Education II” Yuji Ikeuchi

Abstract

This is an examination of the results of an open lecture for the purpose of improving the classroom instruction at Takamatsu Junior College. The analysis is of a lecture that was part of a series of open lectures, required under university regulations, that began in 2003. This author reports the findings of a lecture of the “Physical Education II” course. The series of open lectures for class research began in the previous year. This lecture was the 4th in the series and the 2nd in the 2004–2005 school year.

本稿は、平成15年度から本学保育学科が実施している授業改善のための事業「保育学科における教員の授業研究の実施」（大学教育高度化推進特別経費 平成15年教育・学習方法等改善支援経費）の一環として行われた「体育Ⅱ」の研究授業の記録である。本学科の研究授業は昨年度から試行的に行われており、今回が4回目を数える。本講義は平成16年度としては2回の研究授業である。

1. 研究授業の日程

研究授業および検討会は次の日程で行われた。

〈研究授業〉

日 時：2004年11月25日(木) 3校時 13時～14時30分

場 所：体育館

授業科目：体育Ⅱ (担当：池内裕二)

参加者：他学科の教員を含め5名

〈検討会〉

日 時：2004年11月25日(木) 16時20分～17時50分

場 所：西館2F演習室

参加者：他学科1名，本学科4名

先述したが、あくまでも試行的に行われているため、研究授業として、特別な時間帯が設定されていないので、本学科の教員であっても授業時間帯が重なっており、研究授業に参加できないという場合もあった。

2. カリキュラムの位置づけ

本講義は保育士資格取得に必要な「基礎技能」に位置づけられ、授業形態は「演習科目」、2単位、60時間で実施される。

3. 本講義の目標

本講義では、子どもの身体の発達や身体運動の発達を理解した上で、年齢に見合った「運動遊び」にどのようなものがあるか調べさせる。また模擬授業という形で具体的な「運動遊び」の学習を通して、安全管理のポイント、指導、援助の方法について習得することを目標とする。

4. 学習者の状態

本講義の受講生は、保育学科2年生19名である。本講義は、幼稚園教諭2種免許状および保育士資格を取得するための選択必修科目である。したがって、学習者全員が、幼稚園教諭2種免許状あるいは保育士資格を取得することを目指しているものとして授業を展開している。体を動かすことが好きで、中学・高校時代に運動部に所属したものが多く、運動能力が高い。また、1年次の体育Iの成績は全員「優」であることなど、授業への取り組みは意欲的である。

5. これまでの授業の進行状況と本時の内容

〈第1講〉 オリエンテーション

〈第2講〉 春の自然散策

- 〈第3講〉 ボール遊び
- 〈第4講〉 鬼ごっこ
- 〈第5講〉 表現遊び, リズム遊び
- 〈第6講〉 リレー遊び
- 〈第7講〉 縄を使った遊び
- 〈第8講〉 力くらべ, 角力
- 〈第9講〉 網を使った遊び
- 〈第10講〉 伝承遊び
- 〈第11講〉 リレー遊び
- 〈第12講〉 鬼ごっこ
- 〈第13講〉 サーキット遊び
- 〈第14講〉 秋の自然散策
- 〈第15講〉 鬼ごっこ
- 〈第16講〉 リレー遊び
- 〈第17講〉 ボール遊び
- 〈第18講〉 紙を使った遊び
- 〈第19講〉 伝承遊び
- 〈第20講〉 本時

授業計画案

オリジナルな服を使って楽しく体操しよう

時 間	学 習 内 容	備 考
13 : 05	本時の説明	
10	模擬授業①	
	制作遊び	資料 1
40	休憩	
45	模擬授業②	
	体 操	資料 2
14 : 20	まとめ	

今後の予定

- 〈第21講〉 サーキット遊び
- 〈第22講〉 縄を使った遊び
- 〈第23講〉 伝承遊び
- 〈第24講〉 氷上遊び（スケート）
- 〈第25講〉 //
- 〈第26講〉 まとめ 評価

6. 研究授業を終えて

(1) 目標設定について

本講義は大きく2つの目標を設定した。1つ目は、子どもの身体の発育発達、運動能力の発達を理解し、各種様々な運動遊びを体験し身に付けること。2つ目は、保育者として運動遊びを安全に楽しく指導・援助する方法を学習すること。

さて、本時の内容であるが、本来導入であるべき服作りに時間がかかり過ぎて、目標である友だちと一緒に身体を充分動かし体操を楽しむことが出来なかった。これは前期に模擬授業を担当した時にあまりにも質、量ともにハードな内容（とても幼児対象のものとは思われない）であったため、今回は保育園児向けにソフトにしようとしたためと思われる。また、検討会で服作りが保育士養成カリキュラムの基礎技能（体育）としてふさわしいのかと指摘があった。

基礎技能（体育）で何を教えるのか。運動遊びと発達の関係、体育的な指導のあり方を毎時の授業でねらいとして明示すること、得意分野を保育課程の中でどうかしていくのかを考えるべきとの指摘もあった。今後一層の教材研究、授業方法の改善を痛感した。

(2) 授業の流れについて

数名の者が遅れて時間どおり開始できなかった。また、導入に時間がかかりすぎた。

準備不足のため途中で材料を取りにいくなど、決してうまく展開された授業とはいえない。また、制作中の学生への言葉かけ、働きかけの不足、教師の位置取りのまずさも指摘された。今後は事前の指導（指導案）授業中の指導、事後の指導（レポート）それぞれの段階でのきめ細かい指導が大切である。

(3) 今後の課題

今後はさらに教材研究を深め、運動遊び（素材）のもつ意義、特長、すばらしさを理解

し、遊びを通しての子どもの発育、発達、協調性、社会性などの心の発達と関連付け系統的に配置する。また、人間性、個性をベースにした指導・援助の方法を学び、学生各々がひとつでも多くの運動遊びを身に付け、将来保育者として子どもとともに運動遊びを楽しく出来るような授業を展開していきたい。

終わりに

研究授業に協力していただいた学生、ご意見、ご指導を下さった先生方に感謝いたします。

資料 1

平成 16 年 11 月 25 日 木 曜日		天候	所属組	(4) 歳児
本日の指導ののポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ袋を使って、自分だけのオリジナルの服を作ることを楽しむ。 ・作るに服を着て、友だちと一緒に身体を動かす。 		行事その他	
時間	幼児の活動・保育者の働きかけ・環境構成準備等			
13:05	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の声かけに反応して、集まって座らだらう。 ・服に興味を示す子や友達のおしゃべりに夢中の子など、さまざまだらう。 ・ワクワクしながら言説明を聞くだらう。 ・材料を受け取り、自分の好きな絵を書いたり、貝殻のりしながらオリジナルの服を作っていく。 ・完成した服を先生や友だちに見せ、喜びや苦労したことを伝えようとするだらう。 ・服を着て、友だちと遊ぶ。 ・休けいする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに集まり方に声をかけ、話がわかる雰囲気を作る。 ・見本の服を見せて、これからの活動に興味を持てるようにする。 ・これからの活動をするのか、子どもたちに分かりやすいように手順をおって言説明する。 ・はさみを使う時や渡し方などを実際にやって見せながら、注意をうながす。 ・子どもの様子を見ながら、「〇〇が素敵だね」と声をかけるなどしていく。 ・困っている子がいても、すぐには声をかけず、ある程度見守り、その後アドバイスを伝えるようにする。 ・「自分で」という気持ちを大切にす。 ・全員で片付けができるように、友達と協力しながら、片付けを競争する。 ・子どもの体力を自己処理して、休けいをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マジック、テープ、折り紙などのコーナーを作り、床が汚れないように新聞紙を敷いておく。 ・ゴミ袋を1人1枚おく。 	

資料 2

平成 16 年 11 月 25 日 木 曜日		天候	所属組	(5 歳児)
本日の指導のポイント	<p>活動名 ゴミ袋で大変身!! 世界に一つしかないオリジナル服を作ろう。</p> <p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミ袋を使って自分にペイントし、自分だけのオリジナルの服を作ることで製作する楽しさを味わう。 ・ 作った服を着て、友だちと一緒に身体を動かせる。 	準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・ CDコンポ ・ アンパンマンの歌 	
時間	幼児の活動・保育者の働きかけ・環境構成準備等			
13:30	<p>◎ 休憩</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちと一緒に座って休憩をする。 ・ 完成した服を着て、嬉しくて走り回す子もいるだろう。 ・ 保育者の声かけに反応し、集まり、床に座る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の活動に見通しが持てるように、次はどのような活動をするのか伝えておく。 ・ 全員が作った服を着ているか確認して、話しができるように集合の声をかける。 ・ 音楽を聞きながら自由に動けるよう声をかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広い範囲の中で自由にダンスができるように、製作の時に使用した物は片づけ、スペースを作る。 ・ 休憩終了後すぐに踊れるようにコンポを準備しておく。 	
13:40	<p>◎ 自由に身体を動かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽に合わせて友だちと一緒に踊る。 ・ 恥ずかしくて踊れない子もいるだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽を流し、子どもたちが自由に身体を動かせるように、保育者も一緒に楽しむ。 ・ 踊ったことがないので、子どもたちが踊りを理解しやすいように大きい動作をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンパンマンのマーチ ・ 踊った後の集合する場所を明確にしておく。 	
13:50	<p>◎ アンパンマン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンパンマンの音楽を聞いて「アンパンマンや。」と喜ぶ。 ・ 保育者のダンスを見る。 ・ 踊ったことのない踊りに始めは戸惑いながらも保育者の真似をして踊る。 ・ 慣れてくると少しずつ余裕が出てきて、友だちと一緒にダンスを楽しむ。 ・ 着ていた服を脱ぎ、自分のかばんの中に入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 踊りたくない子は、無理強いないで友だちが踊っている姿を見てあげられるように声をかける。 ・ 友だちと一緒に楽しく踊れるように大きい円を作り、互いに向かい合い踊る楽しさを味わえるようにする。 ・ 作った服をお家を持って帰って、お父さんお母さんに見せてあげるように声をかけ、かばんの中へ片づけをすることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンパンマン音頭 ・ 子どもたちに踊りを見せる時は、全員の座っている位置から見える場所で踊るように心がける。 	
14:00				

高松大学紀要
第 44 号

平成17年 9月25日 印刷
平成17年 9月28日 発行

編集発行 高松大学
高松短期大学
〒761-0194 高松市春日町960番地
TEL (087) 841-3255
FAX (087) 841-3064

印刷 株式会社 美巧社
高松市多賀町1-8-10
TEL (087) 833-5811